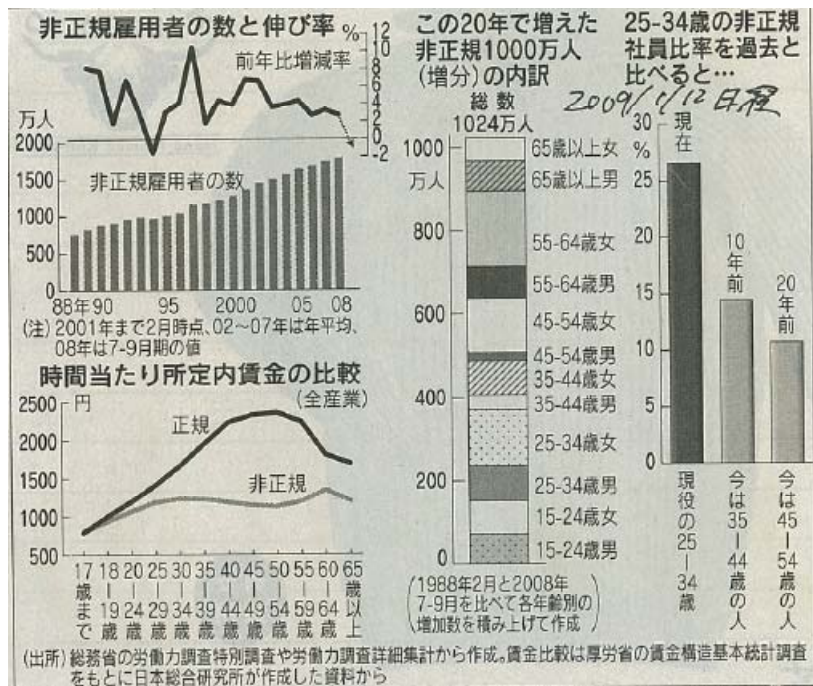


ファイヤー和田の就職関連よもやま話

(1) 非正規社員の数は順調に増えてます！

が、非正規社員の賃金の上昇は頭打ちです！なんと！



日経 2009/1/12

(2) 大卒・大学院卒の正社員への定着率高し！



日経 2009/5/26

かつ、新卒から正社員になる確率が最大！ 学生中の努力重要！

(3) 「七・五・三」3年以内の離職率

新卒就職者の3年以内の離職率は 中卒70%、高卒50%、大卒30%

ですが、なんと！ 沖縄の大卒は52%
すなわち！

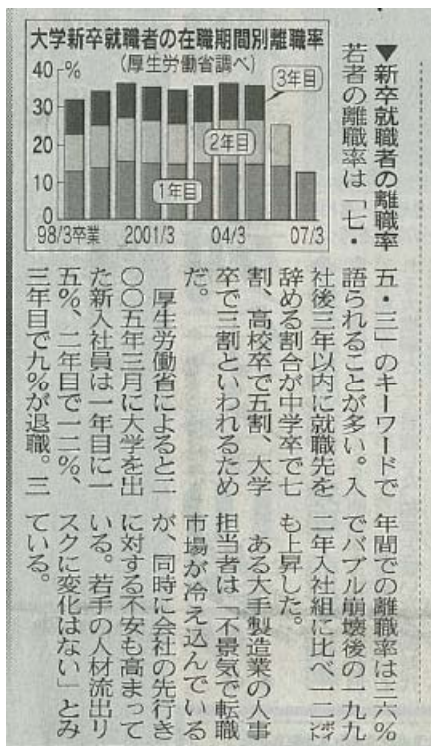
企業は沖縄の学生はすぐやめる！と思っている。。

会社面接で

「私は、長期やめない！がんばる！」と伝えよ！

日経 2009/5/11

日経 2009/5/11 沖縄大・就職担当



挑戦も指導

「学生よりも、その親が公務員にしたがる傾向が強い。しかし、公務員に合格できる学生は少なく、浪人する例もある。浪人を重ねると就職が難しくなるの

したい企業の競争が激しくなっているようだ」
不況で公務員志向は強まっているか。

「民間企業も受験するよう指導している。その効果もあって、昨春の卒業生の就職率は九四・五%と県内の大学で最も高かった」

「今春の就職者の八〇%は県内で職を得た。親が県外就職を薦める傾向が強い。沖縄独特の、家族で子どもを支える習慣のマイナス面ともいえる。

数年前から県外就職に挑戦するよう指導

秋から選択科目として『社会人基礎力養成講座』を新設している」

(聞き手は高田成四)

で、民間企業も受験するよう指導している。その効果もあって、昨春の卒業生の就職率は九四・五%と県内の大学で最も高かった」

就職から三年以内に辞める。履歴書の書き方などマニアルを伝授するだけでなく、生きる力や人生哲学を身につけられるよう、昨秋から選択科目として『社会人基礎力養成講座』を新設している」

「沖縄の大卒の五二%は就職から三年以内に辞める。履歴書の書き方などマニアルを伝授するだけでなく、生きる力や人生哲学を身につけられるよう、昨秋から選択科目として『社会人基礎力養成講座』を新設している」

(4) 面接で！

① 「目を輝かせて！」 元気な自分をアピール！

会社の採用担当者の基準第1位は「人柄です！」

② 「この会社が好きで、

絶対に長期頑張ると約束し、果たせ！」

**新入社員は5年以上とか働いてもらえないと企業は投資を回収でき
ない！すぐにやめそうな社員はとらない！**

③ 「どんな仕事でも、

どんな場所でも興味もってやる！」

と伝え、約束せよ！

**仕事内容や勤務先の希望は内定後・就職後にいくらでも、希望を
伝えることができる。特に、家族の介護等のどうしようもない理由
を会社は考慮する可能性大！ 自分の好き嫌いとかでは、相手の心
に訴えない！**

(5) 優れた社員をめざせ! (ビルゲイツ)

「どうすれば優秀な経営者になれるか」。この質問はこのコラムで何度も取り上げたテーマだ。今回は、これよりも質問の数は少ないが、同じくらい重要な「どうすれば優秀な社員になれるか」を取り上げたい。もし、これから述べる要素をすべて備えているとしたら、あなたは、企業がいつまでも手放さない素晴らしい社員であるはずだ。



まず大切なのは、自分が働いている企業の商品に興味を持つこと。もちろん自分自身で商品を使ってみる必要もある。コンピュータ業界に限らず、どの産業でも技術の進歩は非常に早い。もし、自分の商品に魅力を感じていなければ、す

一度顧客ニーズを把握できたら、商品開発が楽しくなる。あなたがソフト産業で働いているとすれば、「どうしたら楽しく仕事ができるだろう」「どうすれば家で楽しく過ごせるだろう」などと考えながら、顧客ニーズを新しいソフトに生かすことができるだろう。

優れた社員の条件とは

今まで述べた要素は、互いに深い関係を持っていて、成功とは自社の商品と技術を理解し、顧客のニーズを把握することから生まれるのだ。

あなたが一人の社員として、企業と長期間にわたって良い関係を保つことも重要だ。将来を視野に入れ、

技能を磨く、共に働く同僚を探し、など働くための目標を設定する。こうした自分自身への動機付けは難しいが、苦勞に見合った効果はあるはずだ。

優れた社員になるためには、幅広い視野を持ちながら、専門の技能や知識を身に付けなければならない。特に、世界市場が理解しやすくなるように、様々な知識を持ち寄ることが重視される。しかも、今日身に付けた知識が、翌日も通用するとは限らないため、自分から進んで学習する努力が必要だ。また、幅広い経験や知識を積み重ねるために、企業が経営方針を定めることが先決か、などを素早く分析する力はとても大切だ。

「Bill Gates/Distributed By New York Times Syndicate」
 二月一回程度、随時掲載

「どうすれば優秀な経営者になれるか」。この質問はこのコラムで何度も取り上げたテーマだ。今回は、これよりも質問の数は少ないが、同じくらい重要な「どうすれば優秀な社員になれるか」を取り上げたい。もし、これから述べる要素をすべて備えているとしたら、あなたは、企業がいつまでも手放さない素晴らしい社員であるはずだ。

一度顧客ニーズを把握できたら、商品開発が楽しくなる。あなたがソフト産業で働いているとすれば、「どうしたら楽しく仕事ができるだろう」「どうすれば家で楽しく過ごせるだろう」などと考えながら、顧客ニーズを新しいソフトに生かすことができるだろう。

優れた社員になるためには、幅広い視野を持ちながら、専門の技能や知識を身に付けなければならない。特に、世界市場が理解しやすくなるように、様々な知識を持ち寄ることが重視される。しかも、今日身に付けた知識が、翌日も通用するとは限らないため、自分から進んで学習する努力が必要だ。また、幅広い経験や知識を積み重ねるために、企業が経営方針を定めることが先決か、などを素早く分析する力はとても大切だ。

「askbill@microsoft.com」
 紙の場合「c/o New York Times Syndication Sales Corp. 122E.42nd St.14th Floor New York N.Y.10168 USA」あて。ただし「残念ながら本欄で取り上げなかった質問に個人的に返事を送ることはできません」(同氏)。